

放送大学滋賀学習センター

樹 滴

緑豊かな環境

真理のしあたり

第110号



〒520-2123

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5

龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階

TEL. 077-545-0362

FAX. 077-545-2096

<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/shiga/>

目 次

「東は東、西は西」(学習センター所長 吉川 栄治)	1
「身近な無機物質であるカルシウム化合物について」(龍谷大学教授 藤原 学)	2
かいつぶり文化祭と研修旅行の報告	3
滋賀学習センターの勉強会のご案内	4
事務室からのお知らせ	6
卒業式・入学者の集いのご案内	8



東は東、西は西

学習センター所長 吉川 栄治

関西では関西人という言葉をよく耳にする。私は九州で生まれ、関東と関西で四半世紀ずつを過ごしたが、関東で関東人と名のる人間に出会ったことはない。一方、古典に「関東」はしばしば登場するが、「関西」はまず出てこない。関所の向こうの辺鄙な地をイメージする語を都人が使うはずもないからである。

「近江と古典文学」の題で何度か講演を行った。冒頭、前列の聴衆に「あなたは関西人か」と問いかけると、相手は怪訝な顔をする。「私は山科から大津に通勤しているので、毎日関西人と関東人を反復している」というと、一段と面妖な顔つきになる。そこから古典の中の近江への眼差しに話を進めるのである。

平安後期の『古本説話集』に大江^{まさひら}匡衡の有名な逸話がある。宮中の女たちが、学才抜群だが長身・怒り肩で容貌魁偉な匡衡にわざと^{わごん}倭琴(六弦の琴。「東^{あづまごと}琴」とも言う)を弾かせて笑いものにしようとしたとき、

逢坂の関のあなたもまだ見ねばあづまのことも知られざりけり

と切り返して女たちを退散させた話である。「東の事」に「東の琴」を掛けているのだが、「逢坂の関のあなた」を匡衡は「あづま」と言っている。逢坂の関から先、つまり近江は東国という認識なのである。

あづま路はまた逢坂をへだつともかよふ心に関守はるじ (続後撰和歌集)

「東路は逢坂の関がさえぎっていても、私の恋心を止められる者はいない」という恋の歌である。

奈良時代、首都の防衛ラインは伊勢(三重県)の鈴鹿、美濃(岐阜県)の不破、越前(福井県)の^{あらし}愛発の三関だった。しかし、平安時代には逢坂の関がとって代わる。史書には、「京より東を関東と言ひ又は東^{あづま}ともいふ。京より南を関南と言ひ又は南方ともいふ。京より西をば関西といひ又は鎮西ともいふ、又は西国ともいふ。京より北をば関北と言ひ又は北陸とも又は北地ともいふ」(日本略記)という記述がある。「関～」は地域の名称でなく都を円心とする方位の呼称で、京以東は近江をふくめ関東、京以西ははるか九州まで関西という見立てである。少々強引な図式だが、京ファーストの貴族たちにはわかりやすい説明だったろう。

明治2年に関所が廃止されると、東京を中心とするかつての関八州を関東地方、京阪神を関西地方と呼ぶようになり、「関」の意味は実質的に消滅した。ちなみに、「近畿」は三重を包含し、「近畿圏」は近畿圏整備法が適用される福井も含む。しかも、滋賀・三重・福井の三県は中部圏開発整備法の対象地域でもある。滋賀県南部は太平洋側気候で京都新聞を読み、北部は日本海側気候で中日新聞を読む。滋賀県知事は近畿ブロック知事会と中部圏知事会の両方に出席する。予算や民情がからみ、なんともややこしい。

今も昔も滋賀は「近畿」にはちがいないが、古代近江は「畿内」にふくまれていなかった。江戸幕府も、近江を「^{かみがた}上方」ではなく「上方筋」(「上」=天皇がいる京都方面)と呼んで区別した。古代の行政区分としての近江は、北は^{むつ}陸奥まで続く東山道(太平洋側を東海道、日本海側を北陸道、内陸部を東山道と三分した)に属し、同様に紀伊も南海道(四国ブロック)の一部だった。現在でも、滋賀と和歌山は近畿圏では微妙な立ち位置にある。

京都と大津はJRで10分だが、逢坂は越えがたい恋路の関として歌に詠まれてきた。『蜻蛉日記』の作者は、都とは隔絶した「大津のいと物むつかしき(むさくるしい)家ども」を「珍らかなる心地」で眺めた。だが今や大津は京都のベッドタウンで、大津市坂本本町を住所とする比叡山延暦寺を、京都府は世界文化遺産「古都京都の文化財」の一部として申請した。関の東西の歴史と文化、地域感情は複雑に交錯している。

19世紀、インドで生まれた大英帝国の作家キップリングの詩の一節に、「東は東、西は西」("East is East, West is West")という言葉がある。「両者(東洋と西洋)は決してまみえることはない」と続くのだが、詩は「しかし、東もなければ西もない」と、融和の予言をもって結ばれている。逢坂山の東と西はどうだろうか。

身近な無機物質であるカルシウム化合物について

学習センター客員教員 藤原 学

20 数年間、大学において主に無機化学と分析化学について講義しています。龍谷大学が所蔵する貴重な考古遺物の科学分析を行うようになり、彩色された絵画や障壁画、お城や蔵などの白壁、建物外壁の金属飾りなどの素材がより気になるようになりました。洞窟や建造物廃墟から古代の美しい絵が発見されることがありますが、数千年を経ても古代の色がそのままの状態を保たれています。光・風・水・生物からのダメージが大きいと、多くの考古遺物が人の訪れない乾燥した地域に存在していることは至極普通なことです。逆に言うと、そうでない地域の考古遺物の多くは、自然によって破壊されていると考えられます。

さて、古代から用いられている彩色用の無機顔料としてこれまで多くが報告されていますが、東洋では五行思想からの基本の5色である白・黒・赤・黄・青（緑）の顔料が中心です。その中で白色顔料は、古代から現在まで使用されているカルシウム系・バリウム系（重晶石 BaSO_4 ）・鉛系（鉛白 $2\text{PbCO}_3 \cdot \text{Pb}(\text{OH})_2$ ）などがあります。身近に手に入ることから、カルシウム系が最も広く使われています。カルシウム系には、白亜または胡粉（炭酸カルシウム CaCO_3 ）と石膏（硫酸カルシウム $\text{CaSO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ ）があります。炭酸カルシウムは、地殻中に石灰岩として存在しており、地球上に存在する炭素の 99.5%以上を占めています。地球温暖化で問題になっている大気中の二酸化炭素は、その 0.00075%しかありません。

炭酸カルシウムは加熱すると炭酸ガスが放出し、酸化カルシウムになります。それを水と反応させると水酸化カルシウムとなり、水酸化カルシウムの飽和水溶液が石灰水です。ストローを使って、石灰水に息を吹き込むと白くにごりますが、さらに息を吹き込み続けると白い沈殿は消え、元の透明な水溶液に戻ります。強い塩基性を示し酸性酸化物である炭酸ガスを吸収し、炭酸カルシウムの白色沈殿を生成（ $\text{Ca}(\text{OH})_2 + \text{H}_2\text{CO}_3 \rightarrow \text{CaCO}_3 + 2\text{H}_2\text{O}$ ）します。さらに、石灰水中の炭酸の濃度が増加すると、これは炭酸水素カルシウム（ $\text{Ca}(\text{HCO}_3)_2$ ）となり水に溶解（ $\text{CaCO}_3 + \text{H}_2\text{CO}_3 \rightarrow \text{Ca}(\text{HCO}_3)_2 \rightarrow \text{Ca}^{2+} + 2\text{HCO}_3^-$ ）します。日本においても、各地に石灰岩地層が存在しその地下部分に鍾乳洞が存在していますが、鍾乳洞内で日々この化学反応が起こっています。溶解した炭酸水素カルシウムも水の蒸発や温度変化により、化学平衡の位置が移動し、再び炭酸カルシウムとなって析出します。鍾乳洞内にある特異な形状の岩（石筍や畦石池）は、非常に長い時間をかけて化学平衡の移動が起こったことを示しています。

皆さんもご存知のように姫路城天守閣は平成の大改修(2009~2015年)が行われ、真っ白に生まれ変わりました。白すぎると言われるのは、壁と屋根の部分に防水・防火の目的で大量の漆喰が使用されているからです。漆喰は、水酸化カルシウムが空気中の二酸化炭素と反応し炭酸カルシウムとなって硬化したものです。文化財を守る職人の方々の伝統的な技術への称賛とともに、化学物質が果たす役割に思いを馳せていただくと幸いです。



修理後の姫路城天守閣（2015年10月撮影）

第19回 かいつぶり文化祭 の報告

11月4日(日)に学友会(かいつぶり)主催による「第19回かいつぶり文化祭」が開催されました。

玄関ロビーと講義室の展示会場には、絵画・書・陶芸品・手工芸品・写真・和歌俳句・生け花・野菜・収集品など学生の作品が多く展示されました。

午前中は、「仏師運慶と近江の荘園」と題して、放送大学教授の近藤成一先生の講演会が行われ、75名の参加者が熱心に耳を傾けていました。お昼には和気藹々の昼食懇親会がもたれました。ほかにも、無料コーヒーのサービスコーナーがあったり、輪ゴム体操や吹き矢・折り紙の体験コーナーやソリティアなどのゲームコーナーが設けられ、そして午後からは映画「男はつらいよ」の鑑賞会もあり、この日ばかりは、滋賀学習センターも終日多くの学生さんでにぎわいを見せていました。



平成30年度 研修旅行 の報告

11月23日(勤労感謝の日)は当センターの学生研修旅行が実施されました。今年の研修旅行から募集方法が変わり、参加希望者が定員をオーバーした場合は抽選により決定することになりました。しかし結果として抽選には至らず、総勢36名の参加者が元気に、研修先の愛知県犬山市にある博物館明治村に向かいました。

途中、関ヶ原あたりではパラパラと小雨が降る空模様でしたが、明治村では雲一つない快晴の小春日和となり、参加者一同は心地よい散策を楽しみました。

「明治時代」から連想されるキーワードを並べてみますと、「文明開化」、「廃藩置県」、「富国強兵」、「殖産興業」など、まさに革命的な「維新」が起こった時代だったと言えます。参加された皆さんは、重要文化財を含むたくさんの明治の施設や機械にふれ、またボランティアガイドさんの熱心な説明を聞いて、大変有意義な一日を過ごされたことと思います。明治時代が始まって150年となる節目の年にふさわしい研修旅行になりました。



勉強会のご案内

所長・客員教員が開催する学びの場です。原則として滋賀学習センター所属の学生が参加できます。

以下の日程が変更になる場合は、滋賀学習センターWEB ページ及び掲示板でお知らせしますのでご注意ください。



吉川 栄治 先生 | 古今集の世界

日本文化の出発点となった最初の勅撰集『古今和歌集』の世界にふれます。文字の大きなワイド版岩波文庫を使用します。

1月 15日(火) 10:30~12:00

2月 12日(火) 10:30~12:00

2月 26日(火) 10:30~12:00

3月 12日(火) 10:30~12:00

3月 26日(火) 10:30~12:00



秋山 元秀 先生 | 中国史の原典を読む

司馬光『資治通鑑』講読が巻18に進みました。漢武帝と匈奴との戦いが中心テーマになるところです。テキストは活字標点本(中華書局版)を使います。

1月 9日(水) 13:30~15:00

2月 13日(水) 10:30~12:00

2月 27日(水) 10:30~12:00

3月 6日(水) 10:30~12:00

3月 27日(水) 10:30~12:00



石田 法雄 先生 | ちょっと英会話その7

簡単な英会話です。時に英文法の解説をします。趣味・趣向、最近の出来事などを主なテーマとしています。

1月 11日(金) 13:30~15:00

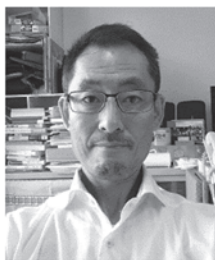
1月 18日(金) 13:30~15:00

2月 15日(金) 13:30~15:00

2月 22日(金) 13:30~15:00

3月 1日(金) 13:30~15:00

3月 22日(金) 13:30~15:00



井上 辰樹 先生 | 健康と運動

人類にとって運動とはいかなる価値を持つのか、また現代社会において運動不足の与える影響とはについてみなさんと一緒に身体を動かしながら、考えていきたいと思えます。(体育館用シューズ持参、動きやすい服装で)

2月 8日(金) 13:30~15:00

3月 8日(金) 13:30~15:00



梅澤 直樹 先生 | 経済学の歴史から現代の指針を学ぶ (2月より)

アリストテレス、スミス、ミル、マルクス、マーシャル、セン、ポランニーなど多様な経済学者の所説から、現代社会の課題に取り組むヒントを参加者と考えてみたいと思います。

1月 18日(金) 10:30~12:00 (1月は前回の続きとなります)

2月 15日(金) 10:30~12:00

3月 1日(金) 10:30~12:00、3月22日(金) 10:30~12:00、3月29日(金) 10:30~12:00

NO
IMAGE

兼重 努 先生 | 多民族国家中国における民族と国家 — 「少数民族」知識人の視点から —

中国における民族と国家の関係について、モンゴル人の視点をもとに学びます。テキストの記述に対するみなさんからのご質問に、兼重が回答するという形で進めていきます。勉強会のすすめ方については初回に詳しく説明いたします。

1月15日(火) 13:30~15:00



藤原 学 先生 | 電子から見る化学 (その2) — 分析化学と考古科学・環境科学 —

前期における勉強会「電子から見る化学」に引き続き、電子のエネルギーを調べる分析手法を紹介するとともに、考古試料や環境試料を対象にした分析について説明します。

1月10日(木) 10:30~12:00

所 長	吉川 栄治	放送大学特任教授・滋賀大学名誉教授	国文学
客員教員	秋山 元秀	滋賀短期大学長・滋賀大学名誉教授	地理歴史学・人文地理学
	石田 法雄	滋賀県立大学名誉教授	宗教学・英語英文学
	井上 辰樹	龍谷大学教授	公衆衛生学・運動生理学
	梅澤 直樹	大和大学教授・滋賀大学名誉教授	社会経済学
	兼重 努	滋賀医科大学教授	文化人類学
	藤原 学	龍谷大学教授	機器分析化学

所長および客員教員が学習相談に応じています。ご希望の方は事務所窓口までお申し出ください。

事務室か らのお知 らせ

図書・再視聴室の利用期間や図書・教材の貸出の方法、通信指導の添削、単位認定試験の期間・時間割・携帯品、また今学期で卒業見込みの方、学籍が切れる方、次学期も学籍が続く方の、それぞれの手続きなどについてご案内します。

図書・再視聴室の利用について

■ **利用時間** 通常期間 9:15~17:45 (試験期間 9:00~18:45)

図書・再視聴施設への入室時には、学生証が必要です。

■ 図書の閲覧及び貸出

図書資料は、書架より自由に取出して閲覧できます。また、「禁帯出」の辞書類や印刷教材以外の図書は1か月以内の貸出ができます。

※学習センター閉所日や開所時間外での図書資料の返却は、玄関前に設置の返却ポストをご利用ください。

開所中は「図書・再視聴室」へ返却してください。

■ 放送教材(DVD/CD)の視聴及び貸出

放送教材は受付カウンターで手続きをすれば、室内視聴が可能です。(登録科目以外の放送教材も視聴できます。)

※ 放送教材の貸出は、現在登録している科目及び再試験科目の放送教材を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます。往復の送料は、貸出希望者の負担になります。詳しくは「学生生活の葉」(学部:33頁~35頁、大学院:44頁~46頁)を熟読してください。

■ 貸出停止日と閉室日

* 貸出停止 1月10日(木)~2月2日(土)、3月10日(日)~4月上旬

* 再視聴室閉室 3月23日(土)~3月31日(日)(図書・放送教材の整理のため)

■ ロッカーおよびメッシュケースの利用

学习上必要とする教材以外の所持品(かばん等)は、図書・再視聴室へは持ち込まないで、ロッカーを利用してください。

なお、貴重品は必ず身に付けてください。ロッカーの利用は当日限りとし、無料です。(100円硬貨リターン式)

また、カウンターにメッシュケースを置いてありますので、教材等の持ち運びにご利用ください。なお、メッシュケースの利用は当日限りとします。

通信指導の添削結果について

通信指導の合格により、当該科目の単位認定試験の受験資格が得られます。未提出、あるいは不合格の場合は受験できません。通信指導の可否結果は、添削結果と同時期に送付される「単位認定試験通知(受験票)」によって通知されます。

添削結果返送時期は2018年12月末頃です。択一式は1月8日(火)、記述式は1月17日(木)までに届かない場合は、大学本部(Tel: 043-276-5111)に連絡してください。詳しくは、「学生生活の葉」学部:66頁~70頁、大学院:60頁~64頁を参照ください。

単位認定試験について

通信指導の合格により受験資格が得られます。未提出または不合格の場合は受験できません。通信指導の結果が1月17日(木)になっても届かない場合は、大学本部(TEL:043-276-5111)へ連絡してください。



単位認定試験については、「受験票」、受験票に同封の「単位認定試験に際しての注意事項」および「学生生活の葉」(学部:70頁～77頁、大学院:64頁～71頁)を熟読してください。

■期間

【大学院】 1月24日(木)、1月26日(土)

【教養学部】 1月25日(金)、1月27日(日)～2月2日(土) ※1月28日(月)、2月1日(金)を除く

■必要なもの

★単位認定試験通知(受験票)

試験日の約1週間前までにご自宅に送付されますが、「単位認定通知(受験票)が1月17日(木)までに届かない場合や紛失した場合は、大学本部(TEL:043-276-5111(総合受付))へ連絡ください。

★学生証

学生証は、学習センターで発行します。発行するためには、事前に写真票を大学本部に提出していただき、システムWAKABAに登録されていることが必要です。写真票は、試験日までに余裕をもって大学本部に提出してください。(発行には数日かかります)

★HBの黒鉛筆 シャープペンシルは不可です。

★持込み許可物品

受験票に同封されている「単位認定試験受験に際しての注意事項」に記載されていますので、必読ください。学習センターでは、持込み許可物品の貸与はできません。

■時間割等

★試験開始の10分前までに、受験票に指定された試験室に入室してください。

★1時限は50分です。

★1時限に1科目の受験です。

★遅刻は試験開始後20分まで認められますが、時間の延長はありません。

★試験開始30分経過後は退室することができます。

(一部のリスニング科目を除く)

単位認定試験実施時間割	
第1時限	9:15～10:05
第2時限	10:25～11:15
第3時限	11:35～12:25
第4時限	13:15～14:05
第5時限	14:25～15:15
第6時限	15:35～16:25
第7時限	16:45～17:35
第8時限	17:55～18:45

■駐車場

自家用車で来る方は、事前に事務室で「入構許可証」発行を済ませてください(『利用の手引き』巻末にある「入構許可申請書」に記入の上、提出してください)。満車時は、バス停横の大駐車場をご利用ください。

■試験結果

試験結果は、2月下旬に「成績通知書」によって通知されます。なお、システム WAKABA でも成績を確認することができます。なお、「成績通知書」や同封されている「単位修得状況一覧(単位認定書)」は証明書ではありません。証明書が必要な場合は、所定の手続きを行い、「成績、単位修得証明書」の交付を受けてください。

次学期にむけての手続きについて

<3月で学籍が切れる方>

学習を継続される方、再試験を受ける方は継続入学をしてください。

- 申請期間: 第1回(郵送)2月28日(木)まで ※本部必着 (インターネット)2月28日(木)24:00まで
第2回(郵送)3月17日(日)まで ※本部必着 (インターネット)3月17日(日)24:00まで

■ 提出物: 継続入学用出願票

※ 選科生、科目生から全科生へ入学する場合は、「学生募集要項」で出願してください。

※ 新規に科目登録をせず、再試験のみを希望される場合は、「今回は再試験のためだけの出願である」に○を付けてください。

<次学期も学籍が続く方> 「学生生活の葉」学部:60頁~62頁、大学院:54頁~59頁参照

期間内に次学期の科目登録をしてください。

- 申請期間: (郵送)2月13日(水)~2月27日(水) ※私書箱必着
(システム WAKABA)2月13日(水)9:00~2月28日(木)24:00まで

■ 提出物: 科目登録申請票

<今学期で卒業見込みの方> 「学生生活の葉」学部:93頁~98頁参照

学習を継続される方は、以下の通り入学手続きをしてください。

⇒学籍が続く方

①卒業となった場合の手続き

- 申請期間: 第1回(郵送)2月28日(木)まで ※本部必着 (インターネット)2月28日(木)24:00まで
第2回(郵送)3月17日(日)まで ※本部必着 (インターネット)3月17日(日)24:00まで

■ 提出物: 継続入学用出願票

②卒業とならない場合に備えての手続き

- 申請期間: (郵送)2月13日(水)~2月27日(水) ※本部必着
(システム WAKABA)2月13日(水)9:00~2月28日(木)24:00まで

■ 提出物: 科目登録申請票

システム WAKABA
をご活用ください!



⇒学籍が切れる方

- 申請期間: 第1回(郵送)2月28日(木)まで ※本部必着 (インターネット)2月28日(金)24:00まで
第2回(郵送)3月17日(日)まで ※本部必着 (インターネット)3月17日(日)24:00まで

- ① 卒業となった場合の手続き 提出物: 継続入学用出願票
- ② 卒業とならない場合に備えての手続き 提出物: 学生募集要項出願票

卒業式・入学者の集い のご案内

2018年度第2学期「卒業証書・学位記授与式」、と2019年度第1学期「入学生の集い」を、2019年3月31日(日)に举行します。

今年度の「利用の手引」の月別予定表では「卒業証書・学位記授与式」、「入学生の集い」を3月24日(日)に举行する予定になっていましたが、諸般の事情により3月31日(日)に変更しましたので、関係される学生の方はお間違えのないようお願いいたします。



スケジュール



1 月				2 月				3 月			
日	曜	貸出	内 容	日	曜	貸出	内 容	日	曜	貸出	内 容
1	火		元日 年始閉所日(～1/3)	1	金		臨時閉所日 教員免許更新講習放送授業開始	1	金	○	【勉】梅澤10:30【勉】石田13:30 学生募集・第2回出願受付開始(～3/20)
2	水		閉所日	2	土	×	第2学期教養学部単位認定試験	2	土	○	教員免許更新講習修了認定試験
3	木		閉所日	3	日	○	図書貸出可(～3/9)	3	日	○	教員免許更新講習修了認定試験 教員免許更新講習放送授業終了(インターネット配信)
4	金	○		4	月		閉所日	4	月		閉所日
5	土	○		5	火	○	面接授業	5	火	○	
6	日	○		6	水	○	面接授業	6	水	○	【勉】秋山10:30
7	月		閉所日	7	木	○		7	木	○	
8	火	○		8	金	○	【勉】井上13:30	8	金	○	【勉】井上13:30
9	水	○	【勉】秋山13:30	9	土	○		9	土	○	
10	木	×	【勉】藤原10:30 図書貸出停止(～2/2)	10	日	○		10	日	×	図書貸出停止(～4/7)
11	金	×	【勉】石田13:30	11	月		閉所日(建国記念の日)	11	月		閉所日
12	土	×	面接授業	12	火	○	【勉】吉川10:30	12	火	×	【勉】吉川10:30
13	日	×	面接授業	13	水	○	【勉】秋山10:30 第1学期科目登録申請(面接授業を含む)受付開始	13	水	×	
14	月		閉所日(成人の日)	14	木	○		14	木	×	
15	火	×	【勉】吉川10:30 【勉】兼重13:30	15	金	○	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30	15	金	×	
16	水	×	図書返却最終日	16	土	○		16	土	×	図書・放送教材返却最終日
17	木	×		17	日	○	公開講座14:00	17	日	×	
18	金	×	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30	18	月		閉所日	18	月		閉所日
19	土	×		19	火	○		19	火	×	
20	日	×	第2学期放送授業終了	20	水	○		20	水	×	
21	月		閉所日 資格系統放送(再放送等)開始(～3/31)	21	木	○		21	木		春分の日(閉所日)
22	火	×		22	金	○	【勉】石田13:30	22	金	×	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30
23	水	×		23	土	○		23	土	×	図書・放送教材整理のため視聴室閉室(～3/31)
24	木	×	第2学期大学院単位認定試験 集中科目履修生(看護)単位認定試験(再試験)	24	日	○		24	日	×	
25	金	×	第2学期教養学部単位認定試験	25	月		閉所日	25	月		閉所日
26	土	×	第2学期大学院単位認定試験	26	火	○	【勉】吉川10:30	26	火	×	【勉】吉川10:30
27	日	×	第2学期教養学部単位認定試験	27	水	○	【勉】秋山10:30 科目登録申請(面接授業を含む)受付期限(郵送)	27	水	×	【勉】秋山10:30
28	月		閉所日	28	木	○	科目登録申請受付期限(Web)、学生募集・第1回出願受付期限、オンライン授業終了	28	木	×	
29	火	×	第2学期教養学部単位認定試験					29	金	×	【勉】梅澤10:30
30	水	×	第2学期教養学部単位認定試験					30	土	×	
31	木	×	第2学期教養学部単位認定試験 体育実技単位認定申請期限					31	日	×	卒業証書・学位授与式、入学者の集い 集中放送授業終了

表紙写真: 研修旅行で訪れた博物館明治村の三重県庁舎前で撮った集合写真。